

# 株主総会

▶ 4 ◀

## 一株運動に降伏

小雨のはりついで四月二十八日、東京・渋谷のトランスベッド本社で開かれた株主総会では、

## 吹き荒れる一株運動

「株主総会」が親しい。スバルは「株主総会」で有名な田畑トランスベッド社長を相手に、トランスベッドのそのまじり金社である「株式会社東京」(東京・新小塚)で水戸工場を建設(の会総二億組員十五人である。これ

を撤回、紛争の直接責任者である会社側の役員個人を解雇する。  
 一、会社はユニオンショップを復活、復職者の労働条件を差別せず、今後の労務関係にガードマンの導入をしないこと約束する。  
 一、会社は金組会に対して、ロイヤリティを元年十一月二十五日迄の未払い利息を払交す。組合は和解金百万円を支払う。賞金は月額二万円と、三月にさかのぼって支給する。

全は勝利はなかったであろう。ベッドは大家商品である。イメージが大切だ。もし株主総会に乗り込まれたら、トランスベッドのイメージは落ちてしまふ。トランスベッドのイメージは落ちてしまふ。トランスベッドのイメージは落ちてしまふ。トランスベッドのイメージは落ちてしまふ。

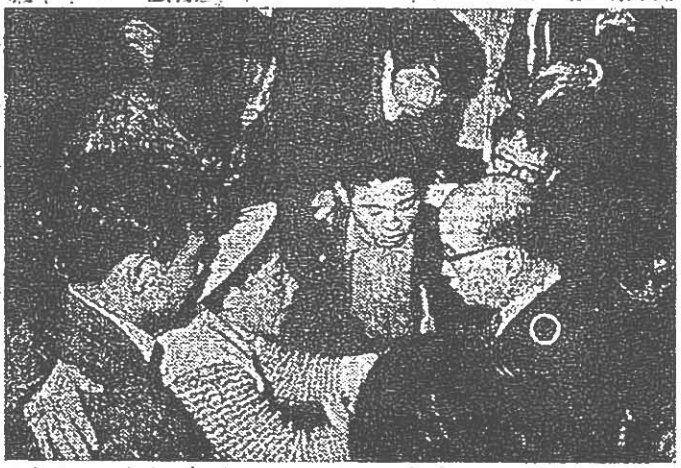
「株主総会」を中止、株主総会に出席する。トランスベッドは「株主総会」を中止、株主総会に出席する。トランスベッドは「株主総会」を中止、株主総会に出席する。トランスベッドは「株主総会」を中止、株主総会に出席する。

トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。

# 経営陣に迫る新手段

トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。

トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。



## 市民不在の企業告発

### もう古い茶番劇時代

トランスベッド株主総会で騒ぎに詰め寄られるトランスベッド社長。昨年の秋の総会で撮す。(田)

トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。トランスベッドの株主総会に出席する。

輪の真ん中に引きずり出す。江頭社長は四十二年に恩賜家族に出したわひ次を悶死させたが、へんをぬいて正座し直したと云い、副親の位はいをかざした恩賜の一人に「親を遺せー 返せんのなら水銀は飲め」とすがりつくように迫られた。水俣病患者の積年のうちみと怒りが一気に放出した。まじい株主総会であった。

チャソの一株運動を採明し、フランスベッドの一株闘争を指弾したのは、後藤孝典弁護士である。後藤弁護士は一株運動の意味を次のようにとらえた。

「千株、一万株とまれば心配だが、百万人がばらばらの一株を持っては金融的価値などは消えて進に出迎への敵対を意味する。チャソ株式の分割は会社分解へのさしを含み、チャソ打倒の運動につながる。また一株運動は何よりも患者を先頭とする総会喚り込み運動であり、裁判にも出てこなら江頭社長らと、直接対決するこによりって水俣病の責任を追求するのじみである」。

一株運動は企業の社会的責任を追究するだけではなく、日本の国主主義や日本人の行動方法を問うていふともいえる。

日本の一株運動はネーグリズムと同一視されやすい。後藤弁護士は、日本のネーグラーといわれる。しかし、本誌は違う。ネーグラーとして株式会社が株主総会

は、肯定すべき前提条件だが、後藤弁護士にいわせれば「会社、株主総会をよるよへつらへんことなんかて一株運動は関係も、責任もなし」

GM無償者とネーグラーとは対等に話し合おうが、後藤弁護士は「十数年も患者をしいたけ続けたチャソが、いまだ責任を話さ合おうけがならい。日本の社会構造の違いを考えれば、株主総会の十後に期待をかけるネーグリズムは日本では敗北する」と断言する。

### △……………△ 広がる一株運動 △……………△

一株運動の後は、急速に燃え広がっている。三菱重工連もへ平連による一株運動の挑戦を受けて、五月二十八日の株主総会を日比谷公会堂にせざるを得なくなった。へ平連は軍用生物を告発した。へ平連のシンボル・マークであるスリーダイヤと、死の商人、のイメージを定規とせよとしている。鶴岡区交通被ばく者保護協会は自動車、損害保険、石油業界大手に一株運動を呼び、川崎の大気汚染で日本国警が、損保の新設物販屋で三井物産、船客船などが攻め立てられている。

市民運動や市民運動と話し合わない企業はならぬ。株主総会を総会屋を使って本意に奪われせることの出来なら、一株運動の時代がやってきたといえよう。